



後期事業実施計画は、市総合計画12年間のうち、令和5年度から令和8年度までの4年間の市政運営の指針となるもので、この期間に取り組み主なる事業を定めています。詳細は市ホームページをご覧ください。



政策推進課（☎内線333）

■総合計画の仕上げの4年間

この4年間は12年間の仕上げとして重要な期間となります。中津川市初の土地区画整理事業をはじめとして、神坂PAスマートインターチェンジ、西部テクノパークなど、これまで『耕し・種を蒔いた』ものが、『育ち・成長する』時期を迎えます。

市の目指す将来都市像「かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる中津川」の実現に向けて全力で取り組み、持続可能な中津川市を築いていきます。

■人口減少を食い止める

総合計画の策定時（平成27年）、市の人口は7万8千人を超えていましたが、国立社会保障・人口問題研究所の推計で、令和8年度には7万人を割り込むまで減少するとされました。

市はそれに対し、総合計画における令和8年度の計画人口を7万2千人と定めて取り組んでいます。その結果、令和2年度時点での人口は、推計の7万4千102人に対し、2千4百人を上回る7万6千570人でした。このままのペースで人口が推移すれば、計画人口を上回る見込みです。

しかし、中津川市の人口は依然として減少を続けており、令和42年には5万7千人を下回ると推計されています。人口減少に対する更なる取り組みが必要です。

■持続可能な中津川の実現に向けて  
人口減少は、自治体そのものの存亡にかかわる大きな問題です。この人口減少、少子高齢化の進展という危機的な状況の中で、持続可能なまちづくりを進めるために、後期事業実施計画において、3つの戦略からなる「地域創生まちづくり戦略」に取り組みます。

基本施策

1 人々がかがやくまち中津川

政策の柱	①将来を担う人材が育つまち ④地域の活力があるまち	②健康に暮らせるまち ⑤いきいきと暮らせるまち	③温かい福祉のまち ⑥歴史文化に魅力があるまち
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すご技中津川プロジェクト事業の実施</li> <li>・妊娠期から子育て期を切れ目なく支援</li> <li>・8万人のヘルスアップや市民病院と開業医の連携強化</li> <li>・地域づくり活動を促進する一括交付金の交付</li> <li>・域学連携拠点「coagari」を活用したふるさと教育</li> <li>・伝統芸能などの保存会活動における後継者育成を支援</li> </ul>		



2 やすらぐ自然につつまれたまち中津川

政策の柱	①災害に強い安全なまち ②きれいで豊かな自然を守るまち
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの更新や総合防災訓練の実施</li> <li>・橋りょうの計画的な耐震、補修</li> <li>・消防車両の計画的な更新</li> <li>・河川、森林に係る環境教育の実施</li> <li>・再生可能エネルギーの導入に対する補助</li> </ul>



3 活気あふれるまち中津川

政策の柱	①働く場があり住み続けられるまち ③世界に向けて情報発信するまち	②便利に暮らせるまち ④市外との交流が盛んで、訪れたいまち
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生を対象に地元企業の情報提供や企業見学会の開催</li> <li>・中山道「六斎市」をはじめとする集客イベントの実施</li> <li>・新規就農者・新規林業従事者の就業の支援</li> <li>・市民生活に欠かすことができない生活道路の計画的な整備</li> <li>・インスタグラムなどのSNSを活用した情報発信</li> <li>・周辺自治体などと連携した周遊ルートの構築</li> </ul>	



横断施策

将来都市像の実現に向けて、関係人口や多文化共生などの「多様な人材の活躍を推進する」という視点や、DX（デジタルトランスフォーメーション）、SDGsなどの「新しい時代の流れを力にする」という視点をあらゆる分野で取り入れて、効果的に施策を推進します。

地域創生まちづくり戦略

1 リニアを活かす戦略

リニアのアドバンテージを最大限に生かし、その波及効果を市域のみならず広域に行き渡らせ、快適で便利な暮らしを実現します。

- ①リニアの宿場を創るまちづくり
  - ・リニア駅周辺の整備
  - ・リニア駅アクセス道路の整備
  - ・西部テクノパークの整備
- ②中心市街地にぎわいをつくるまちづくり
  - ・中心市街地の磨き上げ
  - ・中心市街地の回遊性の向上
- ③人の流れを地域にみちびくまちづくり
  - ・幹線道路の整備
  - ・地域資源の磨き上げ
  - ・周遊観光の促進



2 若者の定住戦略

人口減少を抑制し、将来的に解消させるため、出生率を高め、市民の市外流出を抑制し、若者世代の移住を促進します。

- ①ひとを育てるまちづくり
  - ・未来を担う人材育成
  - ・若者の市内就職の推進
  - ・農林業の後継者対策
- ②仕事を選び、働き続けられるまちづくり
  - ・企業誘致、創業支援
  - ・市内企業・勤労者支援
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり
  - ・結婚・出産・子育て支援
  - ・住まいの確保支援



3 人が集い、安心して暮らせる戦略

人口減少に伴うさまざまな変化に柔軟に対応し、コミュニティの活力を高め、事前防災に取り組むことで、市民の安全・安心な暮らしを守ります。

- ①地域で支えあうまちづくり
  - ・地域活動の推進
  - ・地域交通網の再構築
  - ・関係人口の創出
- ②災害に備えるまちづくり
  - ・事前防災の推進
  - ・消防機能の充実

